

事業概要：中心市街地回遊性向上事業

新規

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	208,491千円 (71,607千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・中心市街地で、観光客・市民双方が快適に回遊できる都市空間を形成し、産業の付加価値向上や地域経済の活性化などを実現することを目的に、まちなかの拠点・街路環境の整備、集客・回遊コンテンツの造成など、複合的な事業を実施する。 ・これらにより、本市の主要産業である、第3次産業の付加価値向上を図るとともに、地域経済を持続的に発展させるほか、魅力ある都市を形成し、人口減少の緩和を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 チャレンジショップ等を支援するほか、主要拠点でイベントを開催することなどにより、中心市街地に、行きたくなる場所を確保し、にぎわいの創出を図る。また、憩いの機能を充実させるほか、観光客や住民がまちを巡るためのコンテンツを造成することなどにより、拠点同士をつなぐネットワークを形成し、まちの回遊性向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・チャレンジショップの出店等を支援（負担金）16,000千円 ・地域一体で商店街エリアの将来像を検討（負担金）1,000千円 ・道後地域で歴史文化の体験型コンテンツを造成（委託料等）3,020千円 ・ストリートファニチャーの整備などで、誰もが憩える滞留空間を創出し回遊性を高める（委託料）15,000千円（工事請負費）10,000千円 ・誰もが楽しめるユニバーサルツーリズムを確立し、回遊性を高める（負担金）9,920千円 ・ターゲットを明確にしたプロモーション事業等でインバウンド誘客を推進（負担金等）16,667千円						
主なKPI	①中心市街地の通行者数（+2,400人） ②1日あたりの公共交通利用者数（+3.30千人） ③観光施設利用者数（+54,600人） ④中央商店街の空き店舗率（▲2.5%）					URL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehi.me.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：まつやま圏域未来共創ビジョン推進事業

新規

申請者	愛媛県松山市ほか5自治体※					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	62,477千円 (20,459千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域の持続可能性を確保し、住民一人ひとりが安心して暮らし続けられる地域を実現することを目的に、自治体の枠を超えた広域的な連携と、地域資源をいかした戦略的な取組を推進する。 ・これらにより、地域の魅力が再認識され、住民の幸福感や満足度が向上するとともに、圏域外の人にとっての関心も高まり、結果として人口減少の緩和につなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 まつやま圏域未来共創ビジョンに基づき、松山圏域で連携し、住民交流を活性化させる取り組みを推進するとともに、合同での特産品販売や商談会を開催し、住民の活力創出や産業の活性化などを図る。 また、航路でつながる広島広域都市圏とも連携し、産業や観光振興など、様々な取組を行うことで、更なる活力向上やにぎわい創出を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・松山圏域や広島広域都市圏内の団体交流に要する費用を一部補助（負担金）4,500千円 ・広島広域都市圏との女子野球の交流促進を図るため、負担金を支出（負担金）3,000千円 ・広島広域都市圏と共同で、大都市圏にて特産品PR販売イベントを開催（負担金）1,000千円 ・広島広域都市圏と連携し、販路拡大に向けた商談会を開催（負担金）8,959千円 ・広島広域都市圏とも連携し、松山圏域への観光客誘致や圏域での周遊促進を図る（負担金）3,000千円						
主なKPI	①圏域内総生産（+3,000百万円） ②圏域の国内観光客数（+600千人） ③広域交通拠点の乗降客数（+180千人）					URL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehim.e.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html

目指すべき将来像

～四国カルストから道後、瀬戸内へ～
やま・まち・うみ・ひと、暮らし彩るみんなの松山圏

人口減少・高齢化と構造的課題に対応しながら、多様な人材が活躍できる環境づくり、暮らしの質の向上などを目指します。

※松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町の広域連携事業

事業概要：安心して働き、暮らせる地方の生活環境創生事業

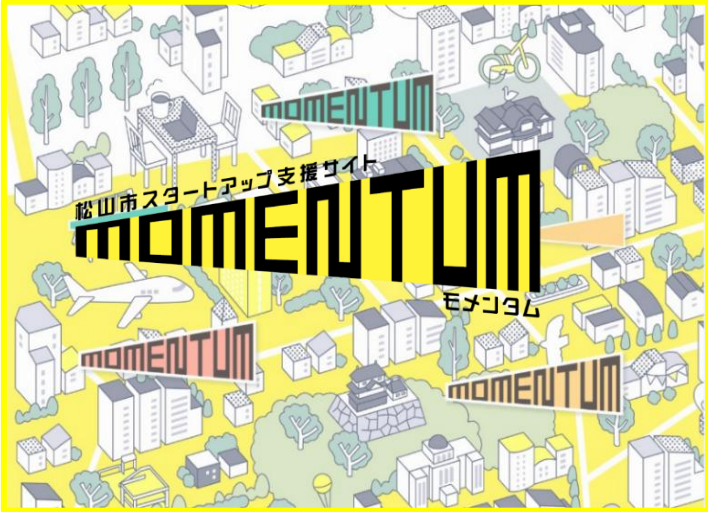
新規

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	115,811千円 (38,837千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・地場産業や地域の中小企業を維持する仕組みづくりや、若者や女性、移住希望者等多様な担い手から選ばれる仕組みづくり、地域課題に対してステークホルダーが連携する仕組みづくりを通じて、人口が減少する環境下においても、地域の産業基盤と市民生活の質を確保し、地域経済の維持及び拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・事業承継を検討する中小企業向けにセミナー等を実施し、早期の承継意識の醸成と円滑な事業承継を促進する。 ・デジタル化に関心があるもののまだ取り組めていない市内企業へ専門家と学生とで構成されるチームを派遣し、企業が直面する課題に対して具体的なソリューションを提供する。 ・高温耐性かつ収量性に優れる「にじのきらめき」の種・苗購入費の一部を支援し、農業者のコメ栽培の生産性向上と所得向上を目指す。 ・女性活躍推進に資する伴走支援を行い、若者や女性にとって「働きやすく、働きがいのある」職場を創出する。 ・女性特有の健康課題等の情報提供やセミナーの開催を通じ、市民全体のヘルスリテラシーを高め、健康の保持・増進を図る。 ・まちづくり協議会などの地域コミュニティと連携し、賑わい創出拠点の運営を行う。 ・産学官連携組織「まつやま未来コネクト」を活用し、地域の大学や企業等と連携したセミナーやワークショップ、実証事業を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地元金融機関と連携した事業承継セミナー等の実施（負担金）1,200千円 ・デジタル人材活用・定着にむけた企業への伴走支援（委託料）2,500千円 ・高温耐性米への転換支援（補助金）2,337千円 ・女性の健康に関する体験型集客イベントの開催（委託費）3,500千円 ・女性活躍推進モデル企業の育成に向けた伴走支援（委託料）9,900千円 ・賑わい創出拠点運営管理経費（負担金）5,000千円 ・産学官連携組織「まつやま未来コネクト」運営経費（負担金）12,800千円						
主なKPI	①地域へのUIターン数(+600人) ②給与所得者等一人当たりの所得(+120千円) ③高温耐性品種「にじのきらめき」の購入支援を受ける農業者の人数(+80人) ④現在の職場が働きやすいと思う市民の割合(+5%) ⑤産学官連携数(+45件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html

事業概要：地域資源を活用した持続可能な観光未来都市推進事業

継続

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	344,400千円 (139,400千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	道後温泉本館の保存修理工事の完了、松山市駅前広場の整備、新たな都市ブランドスローガンの公表など本市にとって大きなトピックが重なるタイミングを逃さず、複数の要素を絡めながら一体的な施策を推進し、人口減少局面においても本市の魅力向上や、関係人口の創出、観光誘客の促進など地域の活性化に繋げていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国の重要文化財である道後温泉本館周辺エリアにアート作品を点在させることで、地域内の回遊性と滞在性を高め、更なる地域経済の活性化と賑わい創出を図る。また、本市の主要エリア「松山市駅前広場」、「JR松山駅・大手町通り」、「榎町通り」のエリアマネジメント組織の構築に向けたワークショップや勉強会、社会実験等を実施する。さらに、“車中心”から“人中心”を目指した街路空間実現のため、基本計画の策定や、社会実験の実施、景観検討を行う。 令和7年度からスタートした本市新ブランドスローガン「幸せになろう。」の普及啓発とブランドコンセプトの共有のため、市民参加型などのWebやSNSを活用したPR活動、各種イベントへの出展で対面での露出を増やす。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・作品制作負担金 58,700千円 ・エリアマネジメント組織構築支援事業負担金 10,000千円 ・エリアマネジメント組織構築に係る人材育成事業負担金 25,000千円 ・ブランドメッセージ普及浸透PR事業（委託料） 15,900千円 ・街路空間デザインの検討及びワークショップの実施（委託料）：20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客推定消費額（+157億円） ②外国人観光客数（+10,400人） ③道後温泉外湯3館の入浴客数（+140,000人） ④エリアマネジメント組織の構築及び魅力ある都市空間形成に係るワークショップ開催数（+13回） ⑤松山市のブランドメッセージを見たり聞いたりしたことがある人の割合（+80%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihosei/kouhukin-katsuyou.html

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	76,160千円 (22,720千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域における良質な雇用の拡大や本市の認知度向上を図るため、本市の雇用を支える成長意欲のある企業や人への投資の促進、スタートアップエコシステムの構築により、多様な人材が安心して働ける環境を整備することで、本市で活躍する人材母集団を拡大しイノベーション促進に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新事業の展開や社会課題の解決を目指す市内企業等に対し、「セミナー」「フィールドワーク」「フォローアップ」等のプログラムを実施し、人材の人柄や企業課題・経営者のビジョンを整理・共有し関係性を構築したうえで、新規事業等の実施に必要な人材等のマッチングを行う。 また、今後のスタートアップ・エコシステムの構築を見据え、市内の創業者、創業希望者、大学、経営支援機関等の関係機関と連携しながら、資金調達支援や市内支援情報等を一元化したサイトの運営など、スタートアップ創出に実効性のあるプログラムの確立を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・新規事業の創出に至るまで、事業の募集、選定、プログラム企画・マッチング・フォローアップまでの一連の事業にかかる委託料 16,000千円 ・エンジェル投資家やVC、スタートアップ経営者等のメンターへの委託料 2,500千円 ・ECモール進出応援補助金 200千円×20事業者 4,000千円 ・販売ノウハウ構築に向けた事前セミナー 講師謝礼 110千円×2名 220千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業に参画する事業者の新規雇用者数(+9人) ②スタートアップ・起業支援策による市内創業件数 (+15件) ③EC事業に参入する市内事業者のECモールでの売上額 (+4.0億円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	206,068千円 (53,044千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 本市独自の資源である「文学」の歴史や先人たちの足跡が、正しく後世に伝わることで、市民の愛着や誇りを高めるほか、市の認知度向上につなげる。 - 官民一体となって、物語が感じられるまちを目指して政策的に進めてきた『坂の上の雲』のまちづくりの基盤を生かしながら、漱石が歩き、子規が過ごした市の中心部で、多くの人々が当時の雰囲気を感じたり、文化活動が盛んに行われることで、文学のまちとしての基盤を強固なものとし、文化芸術を更に発展させ、本市独自の賑わいを創出していくことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歴史的建造物が少ない中心市街地において、「文学のまち」を象徴する新たな体験滞在型施設「愚陀佛庵」を整備する。 管理・展示棟の1階は、愚陀佛庵へ続く通路や受付場所とするほか、誰もが気軽に寄ることのできる交流スペースを設け、2階には中心部の地域資源を紹介するマップや文学史跡などのパネル展示のほか、文化活動や会議、研修などのために貸し切り利用も可能とする会議スペースを整備するなど、地域の交流拠点の機能を有しており、本市への愛着や誇りの醸成を図る。 また、市内には、小説『坂の上の雲』にゆかりのある史跡をはじめ、各地域固有の資源が数多くあり、これらの地域資源をひとつの作品に例え、市内全域を「屋根のない博物館」と捉えたフィールドミュージアム構想の実現につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・外構工事及び中庭整備工事 44,776千円 (「文学のまち松山」体験交流拠点施設『愚陀佛庵』の建設) ・備品購入費 5,000千円 ○効果促進(ソフト)事業 ・プレ・オープニング記念イベント事業費 3,268千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会移動数(転入-転出) (+612人) ②俳句ポストへの松山市内在住の投句者数 (+254人) ③『坂の上の雲』のまちづくりの市民認知度 (+12%) ④愚陀佛庵施設利用人数 (+30,000人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihosei/kouhukin-katsuyou.html

申請者	愛媛県、松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	367,622千円 (113,593千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	- 外国人の受入体制の整備、充実や地域との共生推進に取り組むことで、「外国人から選ばれる愛媛」を実現し人手不足を解消するとともに、企業の中核となる高度人材の採用支援等により、更なる経済成長につなげる。 - 松山空港の体制整備を図ることで、国際線の増便、海外との交流を促進し、更なる外国人を呼び込む相乗効果を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 慢性的な人手不足を補い、地域経済の活性化を図るため、外国人から選ばれる地域づくり、企業の受入環境の改善等に取り組む。					目指すべき3つのビジョン 就労環境の充実による「働く場として魅力ある愛媛県」の実現 外国人材も一人の県民として安心・安全に生活できる共生社会づくり 東予・中予・南予それぞれの地域特性や産業特性に応じた人材受入れの推進 外国人材から信頼され選ばれ続ける愛媛県の実現	
	【R8年度事業 経費内訳】 - 外国人材受入れ・定着に係る企業向け相談窓口の設置（委託料）14,154千円 - 受入環境の整備・改善に取り組む企業等に対する補助（補助金）13,200千円 - 帯同家族を含む在留外国人向けのオンライン日本語学習システムの運用（委託料）13,000千円 - アジアでの日本就職希望者向けの採用イベントの開催、プロモーション等の実施（委託料）6,654千円 - インドネシア・インドにおける企業と高度人材のマッチング支援（委託料等）45,028千円 - 松山空港地上支援業務外国人材活用推進のための専門教育の実施（負担金）958千円						
主なKPI	①県内企業で雇用されている外国人労働者数（+8,200人） ②雇用者報酬及び企業所得の県内総額（+634,564百万円） ③特定技能2号で県内に在留する外国人材の数（+309人） ④在留資格「技術・人文知識・国際業務」を有する県内外国人数（+649人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL							

事業概要：観光DXを基盤とした交流人口拡大プロジェクト

継続

申請者	愛媛県、松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,121,361千円 (348,171千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	“観光産業”を切り口として、観光客に提供する旅行商品の付加価値向上、インバウンド観光客の誘客拡大などの実現により、観光業が本県の地域経済の持続、維持、発展に貢献することを目指す。 - 観光DMPを活用した施策立案を基盤として、効率的かつ効果的なデジタルの活用と、世界的な催しを契機としたリアル、両輪で誘客促進に取り組むことで、「旅先として選ばれる愛媛」を実現し、認知度向上に繋げる。 - 併せて、大型イベントを契機とした高付加価値旅行者へのコンテンツの造成や超富裕層へのコネクション形成、情報発信サイトの構築による広域周遊ルートへの誘因など重層的に展開し、消費額の増加に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 データ分析を基盤とした地域観光資源の磨き上げや、観光地の高付加価値化に取り組む体制を構築するとともに、デジタル広告や国際会議を活用し、県の認知度向上と更なる誘客促進に取り組む。					「サイクリストの聖地」しまなみ海道 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・旅行者データを用いた基盤の活用（委託料）99,957千円 ・自転車国際会議開催準備経費（負担金）85,816千円 ・体験型観光コンテンツエリア創出に向けた計画策定及び伴走支援並びにプロモーション経費（負担金）66,617千円 ・生成AIの急速な浸透に伴う検索行動の変化を踏まえたAIO対策や、旅行者データを活用し、ターゲットを意識した面での情報発信を行うサイトの構築（委託料）59,807千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本県における観光客消費額（+296億円） ②観光DMPの蓄積データを活用して観光施策を立案・改善した件数（+51件） ③県管理港湾のスーパーヨット寄港回数（+12回） ④本事業による延べ宿泊客数（日本人・訪日外国人の合計）(+807千人) ⑤E-マウンテンバイク等を活用したツアー受入環境整備数（+6箇所）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

事業概要：レガシーを活用した関係人口創出プロジェクト

継続

申請者	愛媛県、松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	280,639千円 (139,580千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・スポーツ習慣の定着、文化等を通じた生きがいの発見等により地域への愛着を強めることで、定住を促進するとともに、スポーツ大会の開催や四国遍路の魅力発信の取組を通じて、愛媛ファンを獲得し、関係人口を増加させ、地域を活性化させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スポーツ大会やイベントの開催を通じた交流人口の拡大、愛媛ファンの獲得と地域活性化、文化財のデジタル化・普及啓発による郷土愛の醸成と次世代への継承、博物館と四国遍路を連携させた情報発信や周遊促進など、レガシーを活用した事業を行い、地元定着を図るとともに、関係人口の創出に取り組む。					大下田古墳（1号古墳）  大下田古墳（1号古墳石室内） 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・レガシーを活用したスポーツの継承（補助金）5,500千円 ・文化財等の保存・活用の推進（委託料等）15,496千円 ・博物館との連携による四国遍路の魅力発信 ※R7のみ ○拠点整備事業 ・展示製作設備の整備、備品購入、デジタル展示製作 117,084千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（県への移住者数）（+2,246人） ②県外への転出者数（日本人）（▲2,005人） ③スポーツ大会、イベント等による参加者(+6,175人) ④地域の伝統的な芸能や祭りへの参加（+1.0%） ⑤歴博（内海清美展）の観覧者数（+17,400人） ⑥新展示館の来園者数（+19,653人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

申請者	愛媛県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 2 回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	6,347,427千円 (1,598,339千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ Velo-city開催を契機として、シビックプライドの醸成を図りながら、都市政策を絡めた安全で快適な自転車環境づくりを推進する。 ・ Velo-cityや海外向けファミツアー、サイクリングイベントの開催等を通じて、自転車先進県「愛媛」を国内外に情報発信することで、世界中のサイクルツーリズムが盛んな地域からの誘客を促進し、交流人口の拡大による地域の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 自転車施策において世界をリードする欧州の手法を取り入れた「持続可能な都市モビリティ計画（SUMP）」の策定や地域の自転車利用者が自ら自転車活用推進策を検討するワークショップの開催、サイクリングロードにおける交通結節点・中心市街地との接続性や安全性、快適性を向上させる道路等のインフラ整備、周遊性を高める観光スポーツ拠点整備に取り組む。					しまなみ海道サイクリングロード（今治市）  都市部の自転車通行空間（松山市） 河川空間での環境整備（松山市） 【イメージ図】	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・持続可能な都市モビリティ計画（SUMP）策定（委託料）18,000千円 ・若者等によるワークショップ・フィールドワーク開催運営（負担金）2,794千円 ・重信川サイクリングロード利用促進事業（負担金）1,045千円 ・米豪サイクリスト誘客促進強化事業（負担金）7,500千円 ・サイクルシティ(自転車都市×循環型都市)ブランド強化事業（負担金）23,500千円 等 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事（とべ動物園新オランウータン舎）343,000千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 252,000千円 サイクリングコースや都市部の走行環境を改善する自転車通行空間の整備 ・都市環境整備事業 20,000千円 河川空間を活用したサイクリング等環境整備 ・都市公園事業 920,000千円 サイクリングコースの周遊性向上やサイクルスポーツ振興に資する施設整備						
主なKPI	①観光消費額（＋450億円）②自転車新文化の認知度（＋23.7%） ③県内のレンタサイクル利用者数（＋21,200件） ④自転車活用推進計画の策定市町数（＋5市町） ⑤自転車事故発生件数（▲78件）⑥全国規模の大会等誘致数（＋4件）					URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

※愛媛県、松山市、今治市の広域連携事業

事業概要：若者視点に立った新たなまちの魅力創造事業

旧制度（推進）

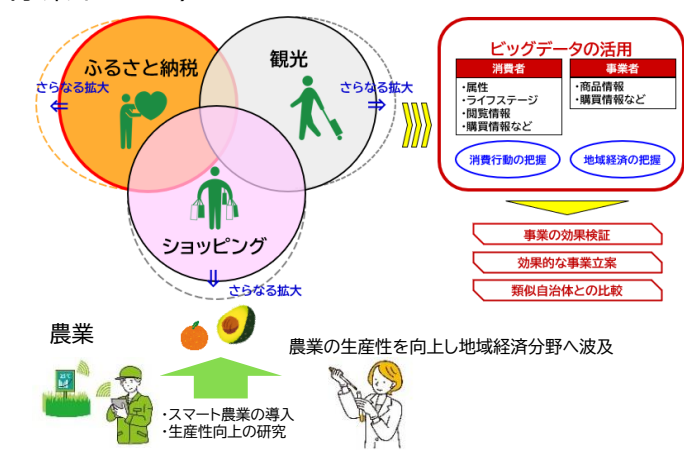
申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	241,885千円 (55,413千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・将来のまちづくりの担い手となる若年層をターゲットに大都市圏からの移住促進 ・本市在住の若年層への定住促進 ・“ふるさと松山”に愛着と誇りを持つことで、「松山に住み続けたい」「進学や就職で松山を離れたとしても、いつかは松山で暮らしたい」「何らかの形で貢献したい」と思う若年層に満ちた都市を目指す		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大都市圏在住者を対象に行った松山市のイメージ調査で、松山市を知るタッチポイントの少なさや地縁が無い若年層が地域コミュニティへ溶け込む接点不足等の課題が明らかになった。そこで、ソーシャルリスニングを活用し若年層に魅力のあるコンテンツの創出や、多様な価値観や地域の魅力を知るカルチャーイベントの開催、インフルエンサーを活用した本市の魅力を発信する取組を産学官が連携して実施する。また、移住者同士の交流会を定期開催することで若年層の地域コミュニティへの参加を促進する。 【R8年度事業 経費内訳】 ・ソーシャルリスニングに基づいた分析経費（使用料） 1,980千円 ・地元企業との商品開発や地域を知るフィールドワークの開催（委託料）：10,037千円 ・移住促進事業（委託料等）：10,884千円 ・松山市防災教育推進協議会負担金：11,000千円 ・パブリシティやキー局番組制作会社等への取材誘致活動（委託料）8,763千円 ・女性をターゲットにした魅力発信 12,349千円（委託料） 		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（+600人） ②若者文化賑わい創出事業の市民参画者数（+40人） ③本市に関するポジティブツイート件数（+60,000件） ④発信した情報への接触人数（+81,100人）		URL ※交付金の具体的 使途・実施体 制・効果検証の 結果及び改善 方策への反映が 記載されている URL 【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html

事業概要：デジタル技術やデータを活用した戦略的な産業振興推進事業

旧制度（推進）

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	121,373千円 (47,337千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	- 地域産業や観光関連産業、農林水産分野においてデジタル技術や新技術の活用による効率化や参入ハードルの低下、データマーケティングによるターゲット層の分析、充実した雇用機会や収益の向上、エビデンスに基づいたプロモーション戦略等を付加 - 地域産業のデジタル化やデータ分析に基づいた効率的な施策の実施により、関係人口の拡大、地域産業の活性化、実需の創出等につなげ、全国から選ばれるまちとなる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 民間企業と連携して市内事業者へデジタルマーケティングの手法等のきめ細かなサポートを行い、これまで積極的に販促活動を行ってこなかった事業者を掘り起こし、EC市場への参入を後押しする。また、ECサイトやビッグデータを活用した販売促進及び観光振興施策に取り組み、購買者及び来訪者と本市との関係性を深化させ、関係人口の拡大を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 - WEB物産展を通じた産品販促プロモーション（委託料）：10,006千円 - OTAを活用した観光誘客プロモーション（委託料）：19,431千円 - 地元事業者向けデジタル人材育成セミナー（委託料）：880千円 - 宿泊施設向けデジタル人材育成セミナー（委託料）：880千円 - デジタルを活用した関係人口との関係深化促進プロモーション（委託料）：14,245千円 - EBPM基盤の運用（使用料）：891千円 - スマート農業の研修（消耗品費）：100千円 - 大学との共同研究（委託費）：904千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①本事業に参画する事業者の新規雇用者数（+60人） ②参加事業者EC売上額及びOTA経由宿泊予約額（+30.63億円） ③物産購買と観光のクロス利用者数（+3,815人） ④スマート農業に取り組んだ新規就農者の割合（+50%）		

（事業イメージ）



【松山市HP】
<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html>

URL
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL